

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	本部町ことばの教室（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 17日		～	令和7年 5月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数)	1名
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 17日		～	令和7年 5月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数)	10名
○事業所向け自己評価表作成日	令和7年 5月 27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	原則親子通園の形をとっており、利用児が安心して活動できる為、事業所に慣れるのが早い。保護者との情報共有もしやすい。	父母だけでなく、兄弟・祖父母など、利用児と関わりが深い家族にも来所してもらっている。	保護者も一緒に支援に関わってもらい、家庭と事業所が一体となった支援が提供できるようにしていく。
2	放課後等デイサービスも行っている為、幅広い異年齢児との交流がとれる。	一緒に活動できる行事を計画し、参加を促す。	利用時間が重なった時は、慣れた職員が間に入り、異年齢児との交流が円滑になるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	強みでもあるのだが、親子通園であることで、働いている保護者は時間の調整が難しく、利用回数が少なくなってしまう。	現在、共働きの家庭が多い為、保護者が付き添うことが難しくなっている。	子どもが、事業所に慣れてきたら、単独での利用も検討する。
2	言語訓練の希望があるが、STが常駐していない。	人材不足。常勤としての採用が難しい為。	講師依頼をして、月1回STにきてもらっている。研修や勉強会などで、職員の知識を高め、よりよい支援ができるようにする。